

令和7年度「県立学校家族休暇制度」 保護者アンケートの結果について

令和8年3月30日（月）
教育庁県立学校教育課

I アンケートの概要

1. 実施期間 令和8年1月22日（木）～3月13日（金）
2. 対象 県立学校保護者
3. 実施方法 web上で実施（各県立学校をとおしてアドレスを周知）
4. 回答者数 9,235人（幼児児童生徒の内訳は以下のとおり）

県立高等学校	計	高1	高2	高3	高4
	8,916	3,577	3,237	2,093	9
県立中学校	計	中1	中2	中3	
	926	308	327	291	
県立特別支援学校	計	幼稚部	小学部	中学部	高等部
	656	6	278	151	221

※複数のお子様がいる場合はそれぞれのお子様についてカウントしているため、
回答者数と生徒数の合計は一致しません。

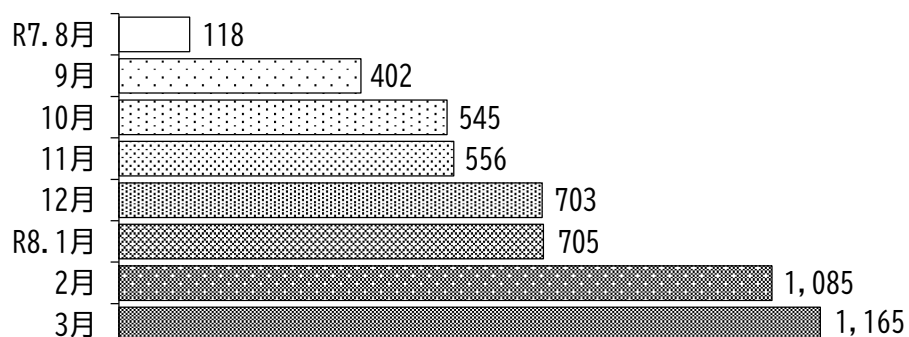
II 回答結果（%以外の単位は全て「人」）

1. 本制度を利用して「家族休暇」を取得しましたか・する予定ですか。

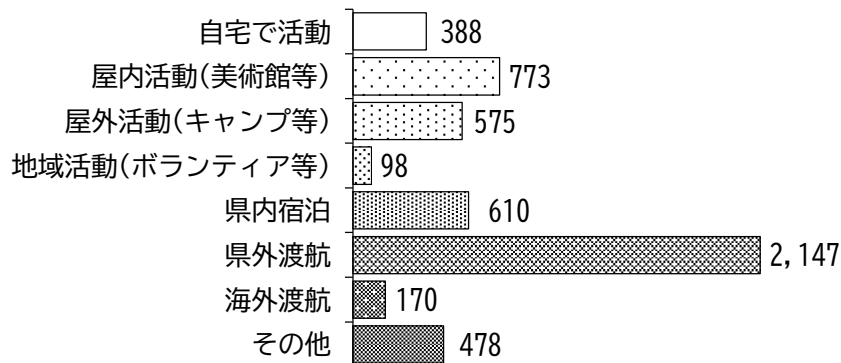
はい 4,060
いいえ 5,175



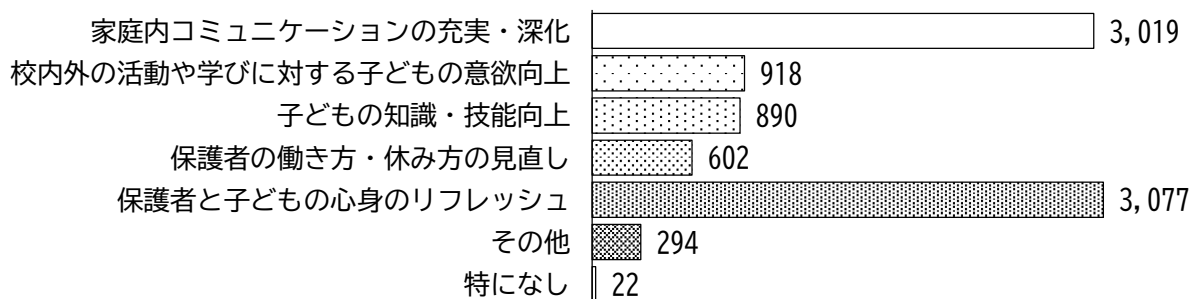
2. （2で「はい」の方のみ）取得した・する月を全て選択してください。



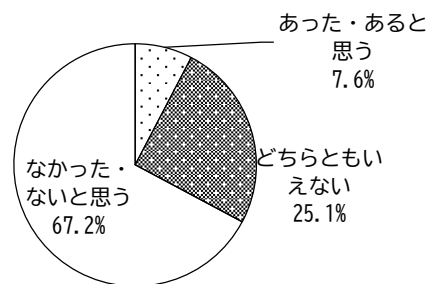
3. (2で「はい」の方のみ) 本制度を利用した活動として、あてはまるものをすべて選択してください。



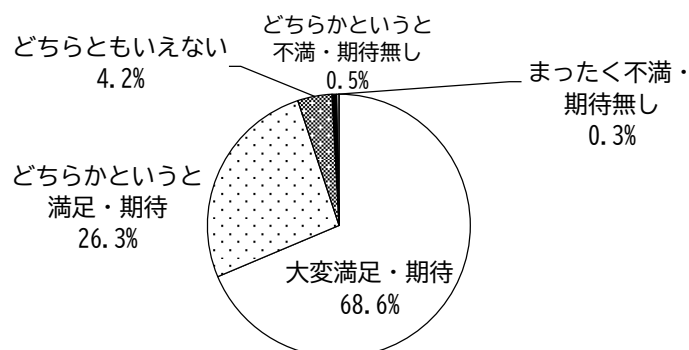
4. (2で「はい」の方のみ) 取得してよかったこと、期待することは何ですか(最大3つ)。



5. (2で「はい」の方のみ) 本制度で学校を休むことによって、学習の遅れや学習意欲の低下など、お子様の学習に影響はありましたか、あると思いますか。



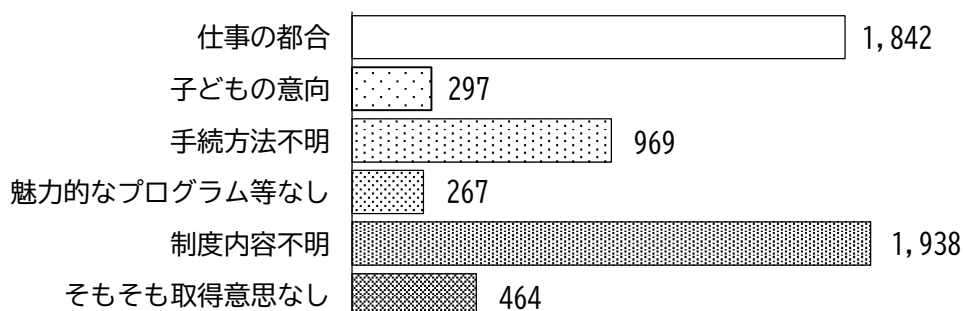
6. (2で「はい」の方のみ) 本制度の満足度・期待度に最も近いものを一つ選んでください。



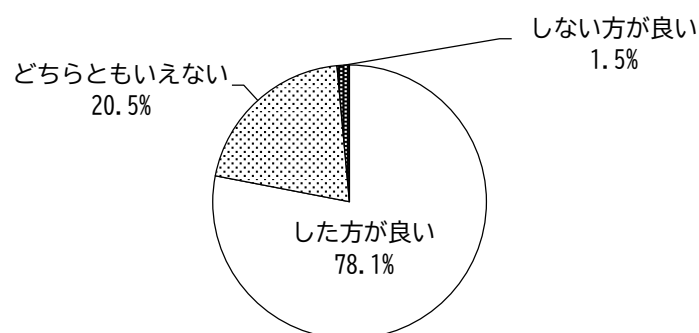
7. 6の理由についてお聞かせください。(任意回答)

- 家族時間が確保できる。(最多)
- 親子や兄弟で過ごす時間が取りやすく関係が深まったという声が非常に多い。
- 費用・混雑の負担軽減(平日利用の利点)。旅費が抑えられ、観光地の混雑も避けられる。計画を立てやすい。
- 学び・進路への良い影響。県外大学見学など、学校外の学びが増えた。
- 欠席扱いにならない安心感。内申・出席日数を気にせず利用でき、心理的な負担が減る。
- 成績・学習遅れへの懸念。授業遅れが心配など。
- 申請・手続きのわかりにくさ。1週間前提出の縛り、学校ごとの対応の違いなど。
- 利用日数の不足。県外移動や進学準備には3日では足りないとの声。

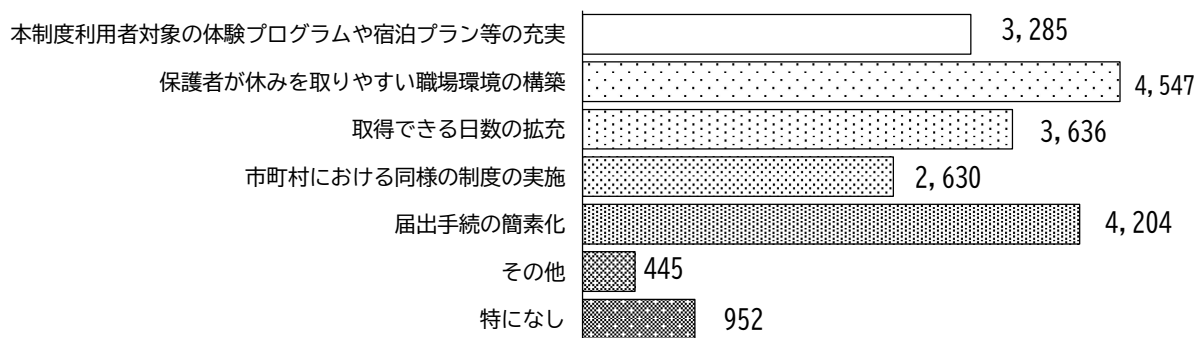
8. (2で「いいえ」の方のみ) 取得しなかった・しない理由として、あてはまるものをすべて選んでください。



9. 令和8年度以降も本制度を継続した方が良いと思いますか。



10. 本制度をより良いものにするために最も必要だと思うことは何ですか（最大3つ）。



11. 本制度に対する主なご意見等（任意回答）

- 家族時間の創出・親子のコミュニケーション向上：家族旅行や帰省、ゆっくり話す時間が作れ「リフレッシュできた」「思い出が増えた」との声。
- 平日取得のメリット：混雑回避や交通・宿泊費の抑制につながり計画が立てやすい。
- 学外での学び・進路探究の機会：地域体験、文化学習、大学オープンキャンパス、ボランティア等に活用できた／したい。
- 欠席扱いにならない安心感：制度が後押しとなり、平日の計画に踏み切れた。
- 制度の継続・拡充を望む声：日数の増加や恒久化を望む意見が多数。
- 授業や課題の負担、単位・成績への影響が不安。
- オンライン申請・アプリ等の対応を希望。
- 周知不足・制度の趣旨が伝わらない。教育委員会による周知強化を要望。
- 対象範囲の不一致：市町村立学校に制度がないと家族全員で取りづらい。
- 経済的負担・格差への懸念：物価高で利用しにくい家庭も。割引・連携プラン等の拡充を求める意見。